

## 鍼灸科

## 手技実技 3

|      |       |     |    |      |   |    |     |     |    |    |   |
|------|-------|-----|----|------|---|----|-----|-----|----|----|---|
| 対象   | 2年次   | 開講期 | 前期 | 区分   | 必 | 種別 | 実技  | 時間数 | 30 | 単位 | 0 |
| 担当教員 | 大関千佐子 |     |    | 実務経験 | 有 | 職種 | 鍼灸師 |     |    |    |   |

## 授業概要

手技施術の基本技術について実習する。日本の鍼灸施術は「触れる」ことから始まる。したがって基礎技術として、触れる、押す、動かすなどの対人技術の習得が必要とされる。この課程では実際に手技を学ぶことによって人に触れること、身体を操作する技術を身につけることを目的とする。

## 到達目標

按摩の各手技を習得するとともに、鍼灸治療で必要な指頭感覚を養っていく。またどのような環境でも効果的に安全な施術ができるすることを目的とする。

## 授業方法

前期では按摩の基本手技を習得しながら、座位、チェア、マットを用いて、それぞれの体位や環境に合わせた施術ができるように実技練習を行っていく。また紅華祭での実習に備えマッサージチェアを使用した施術を習得する。

## 成績評価方法

期末試験を中心に平常授業での態度、課題提出状況などを加味して評価する。

## 履修上の注意

授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受けることができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席扱いはしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。

## 教科書教材

なし

| 回数  | 授業計画    |
|-----|---------|
| 第1回 | 按摩の基本手技 |
| 第2回 | 揉捏法の基本Ⅰ |
| 第3回 | 揉捏法の基本Ⅱ |

## 手技実技 3

|        |                   |
|--------|-------------------|
| 第 4 回  | 座位の按摩 I           |
| 第 5 回  | 座位の按摩 II          |
| 第 6 回  | 座位の按摩 III         |
| 第 7 回  | マッサージチェアによる按摩 I   |
| 第 8 回  | マッサージチェアによる按摩 II  |
| 第 9 回  | マッサージチェアによる按摩 III |
| 第 10 回 | マッサージチェアによる按摩 IV  |
| 第 11 回 | マッサージチェアによる確認テスト  |
| 第 12 回 | マッサージチェアによる確認テスト  |
| 第 13 回 | マットを使用した按摩 I      |
| 第 14 回 | マットを使用した按摩 II     |
| 第 15 回 | マットを使用した按摩 III    |